

## “スタートアップ”部門 まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	水辺とまちの入口研究所	
まちづくり 活 動 名	堀川デザインコード研究会	
活 動 地 域	堀川及び沿岸（納屋橋～朝日橋）	
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>まちづくりの考え方や手法に則ってナゴヤの水辺のあり方を考える「水辺とまちの入口研究所」を昨年12月テラッセ納屋橋に地域参加スペース「川縁（かわべり）」が設置されたのを機に発足した。最初の活動として本年1月より「堀川デザインコード研究会」をスタートした。</p>	
目 的 ・ 目 標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>■目的 堀川は長らく水質の悪化が著しく人影も疎らであったが、決して魅力がないのではなく、「魅力が明らかになっていない、活用されていない」という仮説のもと、改めて「堀川らしさ」を明らかにすることを目的とした。</p> <p>■目標 従来指摘されていない事柄も含めて「堀川らしさ」を体系立てて説明できることを目指す。ただし、本活動では城下町に接する区間（納屋橋以北名古屋城以南）を対象を絞ることとする。</p> <p>■成果 「堀川らしさ」を示すデータとその在処を誰にもわかる形で説明する資料を作成、公表する。</p>	
活 動 内 容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>毎月第4土曜に納屋橋の「川縁」に集合し、堀川らしさとは何か、どのようにまとめるかをディスカッションしつつ、必要に応じて堀川らしさを構成する要素を現地調査により収集し、最終的に成果物をまとめる。</p> <p>これまでに以下のような活動を行ってきた。</p> <p>1/27：活動主旨を認識共有した。</p> <p>2/24：SUP(Stand Up Paddleboard)を漕いで、または歩いて堀川らしさ探しを行った。（宿題：写真のマッピング）</p> <p>3/24：写真マッピングをもとにキーワード、論点をまとめた。</p> <p>4/28：SUPまたは徒歩で現地を再チェックする。</p> <p>今後の活動としては、まず、他地域等の事例について意見交換を行う。そして、これまでの調査および検討をもとに「堀川デザインコード」と題して、堀川らしい、歴史性を伴った魅力資源ならびにその空間構成についてまとめたパンフレット状の資料を作成する。これを専門家や地元関係者に見てもらい、評価を受ける。適宜改良しつつ、その活かし方について検討する。できれば魅力発信の実現方策、次のアクションまでも話し合いたい。最終的に本活動の成果物としてパンフレット状の印刷物を完成させる。</p>	
活 動 予 定 期	平成30年 6月 ～ 平成30年11月	
助 成 金 交 付 申 請 額	50,000円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p><b>審査基準① 必要性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li> </ul>
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年3月に実施された「堀川おさんぽクルーズ」に見るように、堀川は名古屋城、四間道・円頓寺商店街、熱田神宮などと組み合わせさせて人びとを集める場としてポテンシャルを発露しつつある。</li> <li>・堀川に限らず、ナゴヤでは水辺に接する人びとの活動が乏しい。アメニティを与える空間としてあまりにも活用されていない。</li> <li>・「水辺」を「まち」と近づける工夫が必要であり、その足がかりとなるパンフレットの作成が必要と考える。</li> </ul>	
<p><b>審査基準② 実現性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が具体的になっているか</li> <li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li> <li>・人員や規模などは妥当か</li> </ul>
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年1月から活動を始めており、今後の展開の足がかりを掴んでいる。</li> <li>・申請者の代表者はこれまでも那古野地区でグループ活動を通じて地域の特色を説明するパンフレットを作成した経験を持っている。</li> <li>・5人で進めることが可能な活動内容と判断している。関心を持つ者がいれば参加を歓迎することは言うまでもない。</li> <li>・調査や議論が主な活動となっており、これらには支出をほぼ必要としていない。</li> <li>・およそパンフレットの作成、印刷に資金が必要となり、使途が明白となっている。</li> </ul>	
<p><b>審査基準③ 発展性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか</li> </ul>
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺とまちのつながりを深めていくために本活動はその第1歩であると考えている。</li> <li>・本活動が採る方法はナゴヤの他の水辺にも適用可能であり、展開の可能性がある。</li> <li>・観光的魅力の発信にとどまらず沿岸域（本活動では納屋橋以北～朝日橋以南）のまちづくりにおける歴史・地理の(再)理解にも寄与するであろう。プラタモリ、ブラアイチなどの評判を踏まえればそのことは明らかである。</li> <li>・SUP を利用した調査は従来にない水面からの視点・視野をもたらすものであり、水辺のまちづくりに新たな方法を提供するものと思われる。</li> </ul>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
名古屋市緑政土木局河川計画課	五条橋ポケットパーク棧橋鍵借用 (平成30年2月24日、4月28日)

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
30	4	実地調査	4/28：SUPまたは徒歩で現地を再チェックする。
	5	討議検討	5/26：堀川デザインコードとしてのまとめ方を検討する。最終成果物の概略を検討する。
	6	討議検討	6/23：他地域の活動事例を調べてきて吟味・検討する。
	7	討議検討	7/28：再実地調査（写真撮影）を行うとともに、最終成果物として仕上げ方を検討する。
	8	パンフレット作成 （仮案印刷）	8/24 ほか：パンフレット仮案を作成する。
	9	イベント実施	未定（会場予約日）：専門家等を招いてパンフレット仮案を説明し、反応をみる。会場として名古屋都市センターを利用したい。
	10	パンフレット改良	10/26 ほか：イベントの反応等を見て活用方法について検討するとともにパンフレットを改良する。印刷業者に原稿を提出、納品してもらう。
	11	イベント実施	未定（会場予約日）：パンフレット完成版を披露するイベントを行う。会場として名古屋都市センターを利用したい。
	12		
31	1		
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
<b>まちづくり活動助成金（申請金額）</b> ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	インク購入	準備資料作成	5,000円×2個	10,000
	講師謝金	専門家・関係者の招聘	5,000円×2人	10,000
	印刷注文	パンフレット印刷	40,000円 (12頁×200部 既往例に基づく)	40,000
<b>支出合計</b>				<b>60,000</b>

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。